

緑鯨城会便り

ふれあい

第69号
平成29年6月

発行：鯨城会 緑鯨城会
名古屋市高年大学 鯨城学園
編集：緑鯨城会 広報委員会



クレイジーキルト・ミニタペストリー

創作・撮影 23期 花井照子さん

目 次

目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			3
運営委員会だより	総務長	戸田 幸彦	4
会長就任にあたって	会長	花井 興亜	6
1年の大役を終えて	27期	磯部 勝	7
忙しいって何かな？	27期	増原 作亮	8
役員任期を終えて	27期	大平 典正	9
平成29年度総会アトラクションに想う	19期	馬越 求	10
鯨城学園生活から緑鯨城会活動へ	26期	山本 捷一	11
要池公園清掃ボランティア	28期	伊藤 千恵	12
前行事委員長のつぶやき	27期	浅野 光男	13
私にとっての緑鯨城会ボランティア	27期	小澤 順子	13
毎日が日曜日	27期	渡會 恵一	14
ウォーキング同好会 活動報告	26期	加藤 勝江	15
鯨城学園2度目の入学式を迎えて	20期	伊藤 一夫	17
苗木城址を訪ねて	29期	原田 良昭	18
大須演芸場鑑賞会に参加して	29期	岡島 すゞ江	19
緑鯨城会への入会にあたって	30期	近藤 比呂史	20
緑鯨城会に入って	30期	阪 文子	21
29年度の役員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・			22
新しい仲間・・・・・・・・・・・・・・・・			24
表紙についてのコメント・・・・・・・・			25
編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・			25



運営委員会だより

総務長 戸田 幸彦 (28期 生活B)

第9回 運営委員会 (1月28日)

会長挨拶 (磯部)

- ・1/17 「伸ばそう健康寿命」講演会の参加者22名

幹事会報告 (加藤専次)

- ・行事委員会： 1/21 公開講座 NHK寺尾キャスター好評にて満席
- ・6/26 公開講演会予定 ・3/9 OB文化祭5Fホール

協議事項

- ・緑鯉城会 会則の改定について
- ・緑鯉城会委員会・運営委員会・役員会の進め方について

総務より

- ・平成28年度第3回(30期対象)地域ミーティングについて

会計報告

- ・2/10 迄に予算案提出、2/18日 H28年度締め、2/24日 会計監査予定

ボランティア委員会報告

- ・ボランティアフェスティバルに10名参加 ユメリア徳重4F

行事委員会報告

- ・2/8 大須演芸場観劇 60名参加予定

期別委員会報告

- ・28年度の活動報告書を各期へ提出依頼

第10回 運営委員会 (2月18日)

会長挨拶 (磯部)

- ・第2回同好会リーダー会議事録提出

代議員会報告 (磯部) 2/13

- ・鯉城会会則、細則について
- ・再入学に伴う会則、細則追加 (前回代議員会で審議される)

幹事会報告 (加藤専次)

- ・区会活動委員会： 2/17 現在30期生鯉城会入会状況271名内、緑区32名
鯉城16区会フェスティバルを計画中、7/12(水) 中村センター

協議事項

- ・緑鯉城会総会要項について
- ・4/5 緑鯉城会総会について
- ・ふれあい配達員について

会計報告

- ・2/24 会計監査をうける予定
- ・H29年度予算について (会員数380名を見込む)

ボランティア委員会

- ・かきつばたの里等各種ボランティア参加依頼

行事委員会報告

- ・2/8 大須演芸場観劇実施される 55名参加 (参加申し込み者62名)

広報委員会

- ・「ふれあい」第68号発行 3/4 封入 配達者へ依頼渡す

期別委員会報告

・3/12 マラソンフェスティバル参加申し込み者60名で2チーム(瑞穂区北エリア)
第11回 運営委員会 (3月18日)

会長挨拶(磯部) 総会に会つて

幹事会報告(加藤専次)

- ・29年度入学募集の1次締切応募者682名(内再入学者85名)、2次募集中です。
- ・区会活動委員会： グランドゴルフ交歓会は場所探しから始める。

総務報告

- ・役員会・運営委員会会場変更について提案資料提出される(片平ふれあいセンター)

会計報告： H28年度会計監査うける

ボランティア委員会

- ・社協より社会福祉事業に長年に渡り貢献した事により会長表彰をうける

行事委員会

- ・5/30 名古屋地裁見学と傍聴、7/18 中部国際空港等見学について

広報委員会：「ふれあい」の原稿依頼について

期別委員会報告

- ・期別活動報告について
- ・ウイメンズマラソン参加者の皆様へお疲れ様でした。感謝します！！



会長就任にあたって

会長 花井興亜 (28期 環境)

今年度会長の大役を仰せつかりました花井興亜です。
先日の総会時に名前はどう呼ぶのかとご質問がございましたので、この場を借りてお答えしておきます、通常は読めません。「こうじ」と読みます。生まれ育った古の時世から親父が付けたものだと思います。
さて、今年度は30期の新入会員33名を迎え、総会員354名と昨年よりは若干減少しましたが、相変わらず大所帯でのスタートとなりました。
緑鯨城会に入会して2年、総務に所属し、役員会・運営委員会・行事に参加し色々と実態を拝見し、緑鯨城会は広域で、大所帯であり、ここまでに至るには随分と諸先輩方にご苦勞があったと推察され、その諸先輩のご努力を汚すことなく、精一杯努めなければならないと考えています。
一人の力なんて微々たるものです。会員の皆様方のお力添えが無ければ何も出来ませんので、何卒ご助力の程よろしくお願い致します。
気負わず、肩肘張らず、和をもって、少しでも緑鯨城会の会員の皆様が楽しみある一時が過ごせるように努めなければならないと考えます。
よろしくお願い申し上げます。

以上



1 年の大役を終えて

前会長 磯部 勝 (27期 国際)

1 年前の総会で緑鯨城会の会長に選ばれたとき、「大変な大役を引き受けた」と、身が引き締まった。会員数 380 人、16 区の中でもダントツに多い。各区も鯨城会本部も注目している。

しかし、やるからには嫌々やるのではなく、自ら楽しみながらやろうと開き直った。会長方針も「無理をせず、できるものを楽しむ」としました。その手始めに、役員の負担を減らすために、役員会と運営委員会を別の日にやっていたのを、同じ日の午前午後によって、1 日で終わらせるようにしました。

行事委員会主催の行事にもほとんど参加、ウォーキング同好会にも参加して、楽しみました。また、自ら立ち上げたボウリング同好会や、カラオケ同好会にも参加することで、新しい仲間が増えました。

緑鯨城会最大の行事「趣味の作品展」も、皆さんの協力により、盛況のうちに終えることができました。ただ、前年に比べて観客が 100 人ほど少なかったのが、気になりました。

ボランティア委員会は、新海池、要池の清掃、老人ホーム、市民病院でのお手伝い、扇川、鶴舞公園、堀川でのクリーンキャンペーン、マラソン、ボラフェス、雑巾配布など、多岐にわたり活動しています。それになんとか報いたいと、緑社協に表彰を申請し、3 月に緑文化小劇場で表彰式がありました。

また、会長だからできたことは、鯨城会本部での代議員会議に出席できたことです。意見もいろいろ言わせてもらいました。各区会長に呼びかけて、情報交換会も行いました。

大変でしたが、充実した 1 年間でした。

緑鯨城会会員の皆さん、ご支援ありがとうございました。



「忙しいって何かな？」

前副会長・前会計長 増原 作亮（27期 園芸）

鯉城学園生活2年、緑鯉城会生活3年、合わせて5年が過ぎ去りました。

2年間在学していた鯉城学園時代は、体育祭・文化祭・学生協議会など、面倒だなと思ってしまう活動がありました。卒業間際には鯉城会入会の説明を受けて、入会金の支払いをした、という記憶が飛んでしまったまま卒業してしまいました。

卒業してから3年が経ち、振り返ってみますと1年目の緑鯉城会の年会費を振り込んだことさえしっかりとした記憶が有りません。そんな私に緑鯉城会の役員になるよう依頼が来た時には、戸惑ってしまいました。ある理由により役員が一人足りないということで、私に依頼が有ったようです。

ここで私の性格が出てしまいました。面倒だと思いながら「誰かがやらなければならない」と思うと同時に、頑強に断って私を役員に依頼した方と道ですれ違った場合「やあ」とか「げんきですね」などと、挨拶を交わすことの気持ちよさをとり、安易な気持ちで引き受けました。私にとって理由を付けて断るより引き受けた方が楽だと思ったからです。

また、緑鯉城会の役員任期は3年と先が見えていることも、私の気持ちを後押ししたかも分かりません。

役員時代の私の気持ちは。

- ・分からないときは、分かっている方に聞く
- ・都合がつかないときは、代わってもらう
- ・自分の時間を少しつぶせば役員は出来る
- ・出て行くところがあった
- ・なんとかなるだろう（なんとかしよう）

前向きに、善意に、楽観的に考えて、「忙しい」と目くじらを立てることなく役員を終えることができました。皆様に感謝、感謝です。



役員任期を終えて

前総務長 大平 典正 (27 期 陶芸)

昨年5月の緑鯨城会総会にて「総務長」の大役を任命され 約1年間何とか職務を遂行する事が出来ました。ひとえに会員の皆さんや役員・委員のご理解と協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

当初は会議の資料を作るのに直前まで掛かり、大変ご迷惑をおかけしました。しばらくは試行錯誤でしたが、先輩諸氏や事務処理に詳しい方のご指導・教授により随分勉強させていただき、徐々にスムーズに運営することが出来ました。1人では限界があり悩んでも進めません…現在の役員・これから受けられる方は、仲間と相談・協力して知恵を出して進めて下さい。

さて任期中の1年、いろんな会議・行事・イベントがありましたが最も思い出に残るのが、任命を受けた総会後のアトラクションです。思いがけず司会進行役を仰せつかり、演目の内容や進行の打合せなど、会議とは違った役目でした。従来のアトラクションは鯨城会のコーラスやOBのシャンソン歌手にお願いしていましたが、今回は緑鯨城会のメンバーだけで構成しようと企画されました。幸いにも芸達者な方が多く、銭太鼓の演奏、ハーモニカの独奏、フラダンスとギターの演奏さらに役員有志による合唱と多彩な演目となりました。銭太鼓は女性役員を中心としたグループで、これを機に同好会を立上げ月2回練習を楽しんでおられます。ハーモニカ・フラダンス・ギターの演奏・演技はいずれも玄人はだして、ボランティア活動をもされています。最後の合唱はコーラス部OBを中心に役員有志で演奏しましたが、会場のみなさんの声援もあり好評のうちに無事終了しました。

本年も昨年同様の演目でしたが、戸田新総務長の司会・進行により会場と一体となり盛り上がりました。

今後も会員が参加しやすく楽しめる活動を心がけていただきたいと思います。



平成29年度総会アトラクションに想う

馬越 求 (19期 福祉)

扇川沿いの桜並木がちょうど見ごろを迎えた4月5日、緑文化劇場で開催された平成29年度緑鯉城会総会に参加した。お目当ては、総会終了後のアトラクション。一連のセレモニーが終わり、いよいよ期待のアトラクションの開幕である。プログラムは昨年と同様、銭太鼓、フラダンスとギターの共演、ハーモニカ演奏、合唱と続き、新たに加わった演目はない。

昨年のアトラクションでの銭太鼓は、まだ練習不足で、やや、ぎこちないところも目に付いたが、その後サークル（銭太鼓みどり同好会）として発足して1年、今回の演舞は一糸乱れず、短期間で見違えるほどの上達ぶりである。

次のフラダンスとギターの共演は、26期小澤、林のコンビ。小澤さんのギター演奏は勿論のこと、ギターの弾き語りもなかなかのもの。林さんの踊りで鍛えられた体のしなやかさは若々しく、いささかも年齢を感じさせない。

小学生の頃、一時期、夢中になったこともある懐かしい響きのハーモニカの演奏は27期小谷さん。今年もじっくり楽しませてもらおうと期待していたが、やや音が小さくて、微妙な音色は、残念ながらよく聞き取れなかった。私の席の位置と聴力低下のためだったようである。

最後の出番となったのは男女の混声合唱。とにかく大きな声を出すのはいいことだ。直立不動の女性に対して、男性には動きがあった。各自思い思いに、体や腕を動かして拍子をとるのもいい。舞台衣装もよかった。思い切り楽しめばいい。

総会のセレモニーもアトラクションも、正に前年踏襲そのもので、無難にこなしてはいるものの、いささか物足りない。セレモニーはより簡素化し、アトラクションの更なる充実・発展に努めるよう期待したい。



鯉城学園生活から緑鯉城会活動へ

山本 捷一 (26期 地域)

何度も抽選に外れ、鯉城学園、地域学科に入学できたのは申し込んで3年目の春。学生会に席を置き学園全体の活動を経験し、文化委員の一人として、1年生は先輩の指導を受け、2年生では実際の企画運営に携わり、文化祭行事の実行委員として展示会場の配置や舞台での演劇などの発表を委員一丸となり、新たな試みを実践できたことはまだ記憶にあります。

その年「学園の廃止」が名古屋市の仕分け委員会で決議され、学園の将来に暗雲が立ち込めてきました。学園改革委員長の任を受け、社会福祉協議会、学園と一体となり、学園存続の陳情書の署名活動や、アンケートの回収など、地域の飲食店や各企業、OB各位の協力を得て、なんとか学園継続が決まりホッとしました。

卒業後は「緑鯉城会」に入会し、各種ボランティアや行事に参加し、1年目は先輩方の運営方法を学び、2年目は実行委員とし作品展を企画運営し、緑区役所の区民祭り行事の協賛事業とし大高緑地公園での「缶バッチ」作成にもOBの協力を得て盛大に開催することが出来ました。

20回目の「趣味の作品展」では、新しいアイデアをと考えましたが、思い浮かず昨年同様にOBの方々の協力を得て、各人が作成された力作の（陶芸作品を中心に）提供して頂き、来場者に無償配布をして大変喜ばれました。又その時に義援金を頂き、社会福祉協議会に寄付できました事も大変感謝しています。

3年目に入りそれぞれの委員会毎に、総務委員会では、会員名簿の編集、毎月の役員会・運営委員会の設営から運営まで、（特に会場を「徳重会館に」に変更為、）毎月の会場取りに苦労されました。又ボランティア委員会は、毎月の清掃活動や「かきつばた」での喫茶手伝いや鯉城会主催の清掃活動協力など人集めに苦労し、行事委員会では、各種の見学会、旅行案内の企画運営、広報委員会では年3回発行の「ふれあい」誌の原稿依頼から、校正、印刷配布作業まで悪戦苦闘しながらの実行、期別委員会の各期活動毎の記録整理や、ボランティア活動への、会員の参加要請動員に尽力し、各委員会ともそれぞれにアイデアを出し合い新しいことにもチャレンジし、一致協力活動し無事に役目を全うすることができました。

最終の大役「総会」では、従来通りの各委員会や会計報告等を無事に行い、アトラクションでは、初めての試みで、会員各位の隠された特技や、日頃のクラブ活動での練習の成果発表を企画し、「銭太鼓」「ハーモニカ演奏」「フラダンス」「コーラス」など手作りの演出ができ、会場の皆様に楽しんでいただけたと感じました。

「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に」を合言葉に、役員一人一人がそれぞれの立場において全力を尽くし、会員が参加しやすい企画や運営を実行していただきました、又 会員同士がお互いに声を掛け合い、誘い合って参加していただきました。

そして、何にもまして役員全員のお力添えのおかげであつたと心より感謝し、今後も緑鯉城会の一会員とし、多くの行事やボランティア活動に参加していきたいと思っています。

要池公園清掃ボランティア

ボランティア委員 伊藤 千恵（28期 文化B）

要池公園は緑区北東部にあり、地下鉄桜通線徳重駅、ユメリア徳重、ヒルズウォーク徳重ガーデンズ、緑文化小劇場に近く、要池と一体的に構成された公園です。ブランコ、砂場、山型のすべり台、テニスの練習壁もありこどもから大人まで多目的に遊べます。

そんな公園の清掃活動は、月1回第四日曜日、午前10時から11時、小雨が降る程度なら実施します。メンバーは毎回12名～13名参加します。（19期～29期）

伴奏付きのラジオ体操でストレッチをしてから清掃スタートです。空き缶や菓子袋などのゴミを分別して、指定場所に置きます。（ゴミ袋は3～4袋、後日土木事務所の清掃業者が回収）清掃が終わったらペットボトルのお茶が支給されます。

シンボルツリー・メタセコイアの新緑が美しい季節です。四季折々公園内のウォーキングや地域貢献を兼ねて、一度公園まで足を運んでみて下さい。新メンバーさんの参加を心よりお待ちしております。



前行事委員長のつぶやき

浅野 光男 （27期 園芸）

平成28年度の行事委員長を無事終えられましたことは会員皆様の御協力の賜と感謝の気持ちで一杯です。

中でも年3回のバス旅行がほぼ満席の状態で開催できましたことは採算的にも赤字を出すことなく、お土産等で参加者の方々に還元できましたことでホッとしています。

参加者について一言云わせていただきます。

会長並びに会長経験者の方は毎回参加いただいたのですが、現役運営委員の方の参加が少なく淋しい思いをしました。これからの行事にはこのことに御配慮いただき、行事を盛り上げていただきたいと思います。

元々旅行について御世話をすることが好きでこの役についたわけで、楽しんで実行させていただき、特段の苦労はありませんでした。

ご参加の皆様がご安全に楽しんでいただくことをモットーに実践してきたつもりです。

諸先輩の方々のアドバイスも大変参考になりました。

私のパソコン技術の足りないところを27期のコンビ杉山千代さんに助けていただき、案内書、旅行の手引き、名簿等の資料が上手に作成できましたことを感謝いたしています。

29年度の行事が益々盛り上がりますよう祈念いたします。

私にとっての緑鯨城会 ボランティア

小澤 順子 （27期 生活B）

昨年28年度の緑鯨城会ボランティア委員長を務めさせていただきました。

皆様に多くのご協力をいただき、本当に感謝いたします。ありがとうございました。

思えば、委員長のお役を仰せつかった直後は、あれもしなければ、これもしなければと頭がパニックになった状態で、夜も寝られない（とはちょっとオーバーですが）夜中にも目が覚める、朝も今日は何をすべきかとストレス状態が続いていました。

でも先輩や、同期生、また後輩と心優しく親切な人々のおかげで、一つ一つクリアしていけました。

本当にいろいろな出会い、また素敵な人たちとの心楽しい時間が、私の新しい人生の素晴らしいページを埋めて行ってくれました。

緑鯨城会で計画しているボランティアは一人ではなかなかできないことも、皆で楽しみながら時を過ごし、また地域や社会での役にも立つ、自分の存在意義にもつながり、生き甲斐にもつながっています。

私は鯨城学園に入学し、また緑鯨城会でたくさんの方と知り合い、第三の青春をたのしんでいます。これからも健康で、大いに笑い、楽しく人生を過ごしたいと思います。

どうぞ皆様、本年も緑鯨城会のボランティアに心をとめていただき、力強いご協力をお願いします。

「毎日が日曜日」

渡會 恵一 (27 期 文化 B)

「毎日が日曜日」も6年経った。

*元気だぞ まだ元気だぞ 元気だぞ

*一寸待て 俺をまたぐな 迂回せよ(27期 文化B・・・さん作)

仕事を辞める直前の心境である。

健康で、気力もまずまずの中「仕事を辞める」ことには少し後ろめたさがあり、日常生活で家の中をウロウロして、女房に邪魔者扱いされないか等々不安であった。

「先ずは外に出よう」と文化教室・福祉会館などそれなりに、日常の組み立てをした。

*待ち焦がる 孫たち来たが 嬉しさも

一日ちょっとで 疲れに負けし

*家が建ち 家族喜ぶ 個々の部屋

大黒柱は 単身赴任

*贅沢な 散歩夢見た 我がゴルフ

ボール探して トレッキング

優雅にと思った老後生活も現実は厳しい。

仕事をしていた時、まだ幼かった孫たちも中学生・

高校生になっており孫たち同士の連絡(Line)で事は運ぶ。こちらで計画することはもうない。

長男も転勤族、子供の学校のことを考え、名古屋に家建てたが最近の家には大黒柱がない、住むことなく主は相も変わらず単身赴任である。

じじばばが孫達の高校大学受験の要らぬ心配をしているのである。

歳を取って、悠々とフェアウエーを歩きたいと思ったゴルフも甘くない。ただ、平日ゴルフ場にいるとき「贅沢だなあ」とは時々思う。

この6年のうち5年を鯉城学園・緑鯉城会にお世話になった。

「文化学科」は幅が広すぎて、悔いが残る。選んだこともそうだが、それより目的を持たず時間を楽しむ余裕がない自分に。

緑鯉城会は、予想とは違い自由である。興味のあるバス旅行(天龍寺と鈴虫寺・平等院鳳凰堂)、下手な横好きでMKG(Midori Kojyokai Golf)、続けたいパソコン同好会そして近所の要池清掃・扇川清掃ウォーキング等に参加した。興味・時間等自分に合わせて自由に参加できる。

今後も28年度スローガンの様に無理せず楽しむことにしたいと思っている。

7年目の現在も、教室や講座を選んで通い、ゴルフやパソコンで遊んでいる。

加えて当たり前のように女房の講座通いや病院通いの運転手を仰せつかり、1か月が「あっ」という間に過ぎる。「時間」が勿体ないようにも感じている。

最近毎日歩く距離が減っている。5月末久しぶりに遠出、水芭蕉の尾瀬を歩きに行く予定にしている。どうか晴れますように！



ウォーキング同好会 活動報告

ウォーキング同好会 加藤 勝江

○29年3月30日(木)鵜沼の森ハイキングに参加して

レベル2 26期 坂野ひろ子

上小田井駅ホーム集合 名鉄とコミュニティバスに乗りつぎ「うぬまの森」へ、準備体操をしてからウォーキングスタート 昼食は眺めの良い展望台にて手作りの



おかずやデザート



等を頂き和気あいあいでした。 さえずりの道ではうぐいすの声も聞かれ 3月ですが良い汗をかきました。帰り鵜沼の駅まで歩く途中喫茶店に入りお値打ちのケーキセットも頂きお話ももり上がり楽しい

一日でした。 たくさんの人に参加してほしいです。

○29年4月30日(日)名鉄ハイキング『古き良き昭和日常博物館とイチローの故郷を訪ねて』 レベル1 29期 本間富久代

友人に 10Km のウォーキングに誘われ参加したのは 4月30日の晴れてさわやかな朝でした。名鉄西春駅に全員集合し 知らない同志すぐ和気相々としやべりながら出発した、だけではなく沢山の人がウォーキングコースを延々と歩いていました。私は 4Km 歩い



たくらいで(日頃全くウォーキングしてい



ない)左の小指が痛くなり足を引きずりながらも 仲間の人達と笑ったり会話したりと大変楽しいひと時を過ごしながら完歩しました。途中イチローの実家の玄関先まで行き見物したのが 印象づよく残っています。

○9 月 30 日（土）相生山緑地散策コース&天白川 レベル 1 歩行距離 6Km
集合場所・時間 地下鉄鳴子北（野並車庫信号東南角） 9 時 30 分
コース 地下鉄鳴子北⇒相生山神社⇒相生口⇒相生山緑地オアシスの森散策後解散

○10 月 30 日（月）秋の大高歴史散策コース レベル 1 歩行距離 6Km
集合場所・時間 大高緑地恐竜広場（恐竜スベリ台前） 9 時 30 分
アクセス 鳴子北バスターミナル 3 番南大高行き 8 時 59 分発 9 時 20 分着大高緑地西下車
コース 大高緑地から「桶狭間の戦い」の戦跡（丸根砦跡・鷲津砦跡・大高城跡）、草薙の剣の氷上姉子神社、大高三蔵元の一つ山盛酒造での銘酒試飲をして 地元大高を 27 期蟹江喜代子さんの案内で散策ウォーキングします。大高駅解散

○11 月 30 日（木）いたかの森（猪高緑地）自然コース レベル 1 歩行距離 6Km
集合場所・時間 地下鉄本郷駅東改札口 9 時 30 分
コース 本郷⇒名東スポーツセンター前⇒猪高緑地散策コース⇒名東スポーツセンター前

*今回は 多くの人に参加して頂けるよう 近場の半日コースにし希望者はランチします

*持ち物 飲み物、雨具、動きやすい服装・帽子・歩きやすい靴

*参加は自由です。 参加される人は 集合場所に 9 時半迄に来て下さい。

◎雨天中止 前日の午後 6 時 52 分NHK天気予報で降水確率が 9 時～12 時 50%以上中止

連絡先 加藤勝江 090-3564-7523



鯨城学園 2 度目の入学式を迎えて

伊藤 一夫 (20 期 国際→ 32 期 文化 B)

平成 29 年 4 月 11 日 第 32 期の新生は学長で市長の「河村たかし」氏の新生への臆（はなむけ）の言葉を期待して謹聴した。

学園講堂のシートに身を沈めて見守る新生は、84 名の再入学の兵（つわもの）を含めて 660 名である。

「名古屋市から国税として国庫に納める上納金は 34 兆円でヨオ。その中、返還される地方交付金はその一割ダガネエ。この様な優良地域は、大阪、静岡、東京と続く。加えて上納金の 1/2 は地元の某自動車関連で占められているんだギャ、という一面は知っというてチョーヨ」と持ち前の名古屋弁丸出しである。

「学園運営には市民税から一部補いをして頂いている、卒業後は各地域で活躍して、少しはお返しをしてチョーヨ」と結んで、13 日後に市長選挙を控えた学長はご多忙の中、コソコソと楽屋裏に消えた。学園も学生数の激減には勝てず、強いては学園運営費に市民税の補いが追加となる。そこで 1 万名を超す OB からの支援を考えた。と言っても年金生活者の OB に寄付金を募る訳にはいかず、前々から「OB にも再入学のチャンスを与えて欲しい」との多くの声に押されて、市高齢福祉局幹部の背中を後押しした。

続いて 4 月 26 日 第 1 回目の共通講座を飾って、学園 32 年の歴史に再入学の記録を記した副学長「森文代」氏は国立公文書館の受付鴨居に飾る「真理は我等を自由にする」というアカデミックな言葉を引用して、その美貌の横顔を綻ばせた。西洋史が専攻で世界史に格別造詣の深い森副学長は北高校校長を最後に定年を迎え、鯨城学園に転じている。勿論女性の副学長は、OB の再入学制度の導入と併せて学園始まって以来の大英断である。



学園で講義中の筆者

新生の中には、緑鯨城会の 10 期の A 氏を始め、顔見知りの先輩や後輩をチラホラ見かけることとなる。学園で心配されることは「先輩 OB 達と初めての新生との軋轢」である。

「学生協議会委員やクラス会委員は初めての新生に席を譲って下さい。OB は支援者として各種アドバイスに心掛けて下さい」と担任の教務主任の言葉で安心した。

筆者も 81 回目の誕生日を迎え、文化学科に席を委ねることとなった。爪先から頭のテッペンまで文字通りピカピカの一年生である。

同じ文化学科の新生の中には「耳と杖」だけが頼りの盲目の 64 才の男性挑戦者も含まれます。「よくぞ決意した」思わず脱帽します。「ところでオミヤアサン学園で、2 年間、ナニヤリヤースの」ですって。クラスの元文学青年、文学少女達と共に、地元出身の作家「城山三郎」の没後 10 周年を記念して、東区の文化の道へ「撞木館」を訪ね、文化学科の学生らしく文学論を論じ、知的好奇心を一寸くすぐって見たいと思うけどオミヤアさんもドウデアモ。

苗木城址を訪ねて

原田 良昭 (29 期 地域 B)

桜チラシの北風の吹く日に寒さに震えながら、29期「地域B」お城研究家の案内で中津川市苗木にある苗木城址を訪ねてきました。

往復 JR を利用、箱の中の賑やかなことさすが鯉城、今も昔も変わりません。弁当は各自持参と言うことで、中津川で駅弁を調達しようと考えてきましたが、販売していませんでした。キヨスクからコンビニになり、駅弁の情緒は無くなってしまい、寂しく助六で我慢。昔、馬込を訪ねたバスと同じ北恵那交通のバスに乗り苗木までバス代

1,250円、苗木の人が中津川の病院に行こうとすると往復2,500円こう考えると、敬老パスに厚く感謝！いよいよ苗木バス停から徒歩で苗木城址へ、前回訪ねた岩村城に比べれば楽ちんの坂、苗木城址は眼下に見る木曽川から標高差170メートル、大きな岩と狭い土地のため木で櫓に組んだ懸造（かけすずくり）が使われていました。

懸造の上に天守閣を作ったわけですが、天守閣が無い今、下が丸見えで、高所恐怖症の私は長くとどまることが出来ませんでした。このような厳しい環境の所に城を築く、先人達の努力と権力に驚きを禁じ得ませんでした。

いよいよ昼食、雪のように舞う桜吹雪を見ながら風よけの中で、助六弁当を揚げましたが、さすが、女性から多くの差し入れを頂き楽しい昼食のひとつとなりました。

苗木城は改修が数回行われ4種類の石の積み方が有り、近代になるほど石垣がきちんと積まれているそうです。一番新しいものは石垣が隙間無く積まれ見栄えは良いのですが、その方が揺れに弱く、隙間がある方が強いとの説明を受け、我々緑鯉城会も互いに遊び心を持ち、強い結束の集団になればと感じた次第です。

すばらしい山城に感動し29期「地域B」の人達と楽しい会話を交わし、ジョークを言い合った有意義な一日でした。

皆様も是非一度たずねみてください。案内人曰く、天空の城で名高い兵庫県竹田城跡よりこちらの方がすばらしいと豪語していましたので。

(写真は当時のイメージCGです)



大須演芸場鑑賞会に参加して

岡島 すゞ江 （29 期 福祉A）

2 月 8 日緑鯨城会の行事委員会企画で、大須演芸場の大衆芸能を鑑賞する機会をいただきました。経営再建後の大須演芸場に足を運ぶのは今回が初めてで、少なからぬ興味と期待を抱いて訪れました。

演芸場の正面外観は飾り気のない造りでした。東京の寄席の外観を連想して来館しましたので、ちょっと拍子抜けでした。しかし、場内は改装間もないこともあって、舞台も客席も綺麗に整備されておりました。また内装や装飾も、昭和の寄席の雰囲気を出しており、舞台演芸に期待が膨らみました。

舞台には、マジック、落語、漫才、漫談、合わせて 8 組の芸人が出演しました。ただし私の加齢による感性の衰えなのか、あるいは舞台演芸の水準故なのかは判然としませんが、記憶に残ったのは、真打の上方落語家「桂文也」の「ふぐ鍋」だけでした。桂文也を除く総体で、物足りない想いが拭えませんでした。NHKの演芸番組「真打ち競演」や「上方落語の会」の水準は更々望みませんが、東京新宿末廣亭や上野鈴木演芸場の水準には近付けたいものです。地元芸人の層の薄さと東西の狭間という地理的条件ゆえに、難しいことは理解できますが、寄席の灯を絶やさないためにも演芸場の努力に期待したいところです。

今回の鑑賞会を機会に、時折訪れてみたいとも思いました。

後日談ですが、5 月 8 日月曜日、大須演芸場に来演する関西落語界の俊英、桂花團治の嘶を楽しみに再び足を運びました。

当日午前の部は、瑞穂鯨城会の「貸し切り」で満席の盛況だったようです。しかし、私が入場した午後の部は、観客が数えるほどで超閑散状態でした。出演する芸人が、挙って観客の少なさを笑いのネタにする始末で、笑うに笑えない雰囲気でした。

現在の大須演芸場の光と影を、同時に垣間見る思いでした。演芸場関係者の一層の努力を期待するところです。



緑鯉城会への入会にあたって

近藤 比呂史 (30 期 地域 A)

ここ地元相原に生まれ育って70年余り、「ふるさと」に何か一つは恩返しをしておきたいと思うようになった。それには緑鯉城会でのボランティア活動が良いのではと思い、ごく自然に入会してしまった。

先日写真の整理をしていたら、46年ほど前の相原郷及び滝の水方面を望む2枚の写真が出てきた。

幼き頃が蘇ってきた。夏には日の出を待ってのカブトムシ捕り。

昔、前の川と呼んでいた扇川での手製の竿での魚釣り、「四つ手」、「タモ」などを使っ
ての楽しかった川遊び。

当時「つぼ」と呼んでいた「たにし」をバケツ一杯にして祖父に喜んでもらった思い出も。

諏訪社では「野球」、「木登り」、「チャンバラごっこ」。

浄蓮寺の山門下では正月、通称「めんこ」と呼ばれている「しょうや」に夢中で手の甲はいつもひびだらけであった。

「竹馬」「ゴマぼーや」での路地遊び、扇川の堤防では凧揚げ、田んぼでは「スケート」、「弓」、「焼き芋」、空き地での「相撲」「石けり」「缶けり」や「切ったあ」等のオニごっこ、他にも多くあり数えあげたらきりが無い。

仲間と野山や川で遊ぶに忙しく、親から勧められた幼稚園行きを断ったそうだ。

当時の仲間との遊びは、書物では得られない貴重な体験だ。仲間との競争があり、時に諍いがあっても直ぐ仲直り。そこには子供たちなりの社会があった。

今振り返れば、実社会の実験場だったのだろう。常に切磋琢磨、技術向上の創意工夫があり、負けない強い精神力、体力、仲間同士の強い絆などが自然に培われていったのだろう。

人生の最終コーナーに差しかかり、頂いた残り少ない人生をいかに楽しく有意義に過ごすか。私として何ができるのか。活発な世代間交流を通じて、地元での「ふれあい」をより強化できれば嬉しいと思う。



緑鯉城会に入って

阪 文子 (30期 文化B)

鯉城学園に二年間学び、文化祭、体育祭とクラスごとにきびしい時も、楽しい時もそれを乗り越えて来ました。今までの殻を打ち破った人、そうでない人も皆それぞれに何かを掴みとって満面の笑顔で卒業しました。クラスとしてのお別れがいやで、クラスのOB会を立ち上げ1カ月に1度は集まる事で、もう一年間どこに行くのかも予定表が来ています。

さて緑鯉城会に入ってびっくりしたのは、同じ30期なのに見た事も、話した事もない方ばかりで不安になりました。

鯉城学園では、やはりクラス主義だったのがよく解りました。徳重ホールでの総会に参加して、30期の方々に初めて出会いました。へえ、近くに在住されている緑鯉城会の方々なのだと親しみが湧いてきました。

緑鯉城新入会員説明会の時に、私と同じ相原学区の近藤比呂史さんと出会い、その後近藤比呂史さんが、ふれあい誌の原稿を書かれる事になりました。新しい友達紹介で女性の人でという事で、近藤さんより私の所に依頼があり、お引き受けすることにしました。

何もわかりませんが、皆様の豊富な知識から少しでもくみとれます様に緑鯉城会で今度は、頑張っていきたいと思います。

どうかよろしくお願い致します。

なごやか絵手紙クラブで学んだ作



29 年度の役員紹介

- 会長（広報委員長兼務） 花井 興亜 （28 期 環境）
P6 就任挨拶参照方



- 副会長 加藤 専次
今年一年緑鯉城会の副会長、鯉城会、広報委員長を通して、仲間と楽しい時間を過ごしたいと思います。



- 総務長 戸田 幸彦
H29年4月より総務長に就任しました28期生活B学科卒の戸田と申します。総務を担当しまして3年目になりますが、1年目は見習い、2年目は総務長補佐、そして3年目に総務長と言う重責を担う事になりました。この1年間皆様のご協力の下、大過なく職務を遂行出来る様に頑張っておりたいと思いますので、宜しくお願い致します。



- 会計長 林 三枝子
家計簿しかつけた事が無い者ですが、皆様のご協力を頂いて、会計業務を遂行したいと思います。



- ボランティア委員長 鹿島 節子
ボランティア活動に参加してみませんか？お一人でも大丈夫です。
友達の輪が広がって「やって良かった！」ときっと思われます。
「新海池」「要池」の清掃ボランティア、「かきつたの里」喫茶ボランティア、「緑市民病院」受付ボランティア等。ボランティア委員会一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。
雑巾ボランティアもよろしくお願いします。



鹿島さん（中央）とお仲間

○ 行事委員長 松井 昭雄

鯨城学園では、研究クラブで在籍してお世話した経験を活かしたいと思い大変な事を覚悟に当行事委員になりました。

悩みの種は、バスツアーでの参加状況で、常に危機感を持っていますが、委員一同達成を感じての企画です。多数の参加をお待ちしております。



○ 広報副委員長 山森 雅子

夢にも思わなかった広報に携わり、力不足もあって、不安でいっぱいです。ですが、諸先輩たちが素晴らしい、広報誌を作って頂いた土台を崩さないよう、皆で、力を合わせて頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



○ 期別委員長 水野 光子

至らぬ私ではございますか、皆様のご支援とご指導を頂き、今年一年精一杯頑張る積りでございます。何卒よろしくお願い申し上げます。



新しい仲間（緑鯨城会 29 年度・新入会者紹介）

緑鯨城会に新しい仲間が増えました。30期、19期、26期の方々です。

高年大学にいた時と同じように、気楽に楽しくやりましょう。

分からない事や不安な事があったら、いつでも先輩たちに聞いて下さい。

N0	期	学科	在学時のクラブ	氏 名	学区
1	30	健康A	マジック	辻本行一	桃山
2	30	健康A	フォークソング	高林三枝子	旭出
3	30	健康A	郷土史	園田 修	神の倉
4	30	健康A	書道	鳥本洋子	鳴子
5	30	健康B	健康ウォーク	中根登美子	平子
6	30	健康B	英会話	森 順子	戸笠
7	30	国際A	英会話	成瀬多永	長根台
8	30	国際B	フォークソング	鳥山忠義	旭出
9	30	国際B	国際文化研究	野田千代子	旭出
10	30	国際B	重要文化財	古澤利之	鳴海
11	30	生活A	歩いて知ろう会	藤本正信	旭出
12	30	生活B	歩いて知ろう会	鎌田次雄	滝ノ水
13	30	地域A	書道	橋本靖子	熊の前
14	30	地域A	コーラス	倉地峯子	常安
15	30	地域A	健康ウォーク	近藤比呂史	相原
16	30	地域A	写真	福田聖太郎	緑
17	30	地域A	社会研究	保坂美津子	有松
18	30	地域B	写真	渋谷 稔	熊の前
19	30	地域B	郷土史	渡邊克弘	小坂
20	30	地域B	パソコン	江端富江	相原
21	30	陶 芸	水墨画	永川克郎	長根台
22	30	美 術	水墨画	樋野節子	旭出
23	30	美 術	太極拳	河内猛男	黒石
24	30	美 術	フォークソング	松山泰雄	鳴子
25	30	福 祉	ペーパークラフト	亀井美和子	戸笠
26	30	福 祉	オカリナ	松井完次	鳴海
27	30	福 祉	福祉友愛	野村多美子	有松
28	30	文化A	郷土史	平田 秀	大高北
29	30	文化A	短歌	坂神 誠	滝ノ水
30	30	文化A	民謡	大矢三智子	長根台
31	30	文化A	水彩画	中村京子	鳴海東部
32	30	文化B	なごやか絵手紙	阪 文子	相原
33	30	文化B	コーラス	古橋啓子	小坂
34	19	国 際	囲碁	山下進市	戸笠
35	26	園 芸	郷土史	成田紀幸	鳴子

表紙についてのコメント

花井 照子 (23期 文化A)

今回、ふれあいの表紙を飾らしていただくことになり、さてどんなものが、相応しいのか考えました。結果、クレイジーキルトの作品にしました。パターンを縮小して、ミニタペストリーにしたものです。得意とする、刺繍、レース編みも加えてあります。カラフルですし、これがクレイジーキルトですって主張しているような作品です。皆様のお目にとまれば、とても嬉しく思います。

編集後記

この度、ふれあい誌69号発行に当たり、心からホットしています。これも沢山の方々のご協力のたまものと、広報委員から感謝とお礼を申し上げます有難うございました。

前任の担当者から引き継いだ時は、不安ばかりで途方にくれ、すぐに始められず動揺しましたが、いい経験になり、これからの広報にいかして、頑張りたいと思います。

尚、これからのふれあい誌の原稿を受け付けています。趣味、旅行、や日頃思っていること等、題材は自由ですので、下記までメールか電話でご連絡下さい。

花井 興亜	t_hanai@trio.plala.or.jp	TEL 892-9246
山森 雅子	yamamo-72.27@mc.ccnw.ne.jp	TEL 877-7086
熊田 八郎	hkuma383@jasmine.ocn.ne.jp	TEL 895-8797
奥村 和郁	okmr1947@md.ccnw.ne.jp	TEL 892-2366